

知的障害特別支援学校 高等部\*\*コース 国語科 学習指導案

[全体計画]

日時	2019年**月*日(*曜日) 2校時 9:40~10:30	場所	高等部2年*組教室
指導者	T1〇〇, T2〇〇		
単元名	「具体的に説明しよう」		
単元設定の理由	<p>本グループは、高等部**コース2, 3年の7名(男子3名, 女子4名)で構成されている。本コースは、社会生活や職業生活に必要な基礎的な知識・技能・態度の習得を図ることを目標としており、卒業後は、職業的自立に向けて、就労継続支援A型事業所や就労移行支援事業所への通所、特例子会社等への一般就労を目指している生徒たちである。日常生活の中で、自分の興味関心があることは、教師や友だちと会話を楽しむことができるが、報告や連絡、相談等の場面では事柄を順序立てて話すことが難しい生徒が多い。また、語彙力が乏しく、報告の場面では、伝えたい気持ちはあるものの、要点を押さえた内容を相手に伝えることが難しい。このことから、物事を説明するときに使用する具体的な表現を考える機会を設け、相手に分かりやすく伝える学習が必要であると考えた。</p> <p>特別支援学校高等部学習指導要領に示された国語科では、「社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。」と示されている。この目標達成のために、特別支援学校高等部学習指導要領の国語科の内容第1段階、(2)内容の思考力、判断力、表現力等のAのイ「目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶこと」と、Bのウ「自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること」を取り上げていく。本単元では、身近な物や出来事を項目や時系列等にまとめ、相手に伝える活動に取り組んでいく。指定した物事について自分の言葉で表現し、相手に伝える活動を取り入れることで、生徒たちが学習を通して、様々な事柄を具体的な言葉で表現する力や、自分以外の人にも分かる表現をしようとする力を育てることができると考え、この単元を設定した。</p> <p>指導に当たっては、伝えるということに苦手意識を感じないようにクイズ形式を取り入れ、ゲーム感覚で学習できるようにする。最初は自分の好きなもの、興味があるものを題材とし、その後教師が指定したものを題材とすることで、自分に知識がなくても、その物事について言葉にしなればいけない場面を作っていく。物事について自分の言葉で表現する場面では、項目や時系列等を教師が提示し、自分の語彙の中から言葉に出来る部分を見つけられるようにし、自分の言葉で表現する力、何とか相手に伝わったという達成感から自信と意欲を高めていきたい。言葉で表した物事については、ペアやグループの相手に伝える場面を設定し、自分の言葉や友だちの言葉が具体的でわかりやすいものであったか、客観的に考えることができるようにする。</p>		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事について、具体的な言葉で表すことができる。(知識及び技能)</li> <li>・物事の内容に沿った、表現をすることができる。(思考力・判断力・表現力等)</li> <li>・説明において、分かりやすい表現と分かりにくい表現を理解しようとする。 (学びに向かう力、人間性等)</li> </ul>		
指導計画 (7時間 扱い) 本時は 第4時	<p>第1次 自分の好きな物を説明してみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間</p> <p>第1時 説明の仕方を学ぼう・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間</p> <p>第2時 友だちに説明してみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間</p> <p>第2次 物や出来事について説明してみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・5時間</p> <p>第1時 物について説明してみよう・・・・・・・・・・3時間(本時は2時間目)</p> <p>第2時 出来事について説明してみよう・・・・・・2時間</p>		

[本時の指導]

1 全体目標

・内容に沿った動物の特徴を書くことができる。

(思考力・判断力・表現力等)

2 生徒の実態及び個別目標

生徒	生徒の実態	個別目標	自立活動の目標
A 3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>物の説明をするとき、「格好良いです」等、自分が抱いた印象を優先し、相手に伝わりにくい表現をしてしまうことがある。</li> <li>自分の興味のあるものや身近な物の見た目以外の部分の特徴をイメージすることができ、言葉で伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定された動物を特定できる特徴を2つ以上書くことができる。</li> </ul>	
B 3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告や説明を時系列に整理して言葉にすることが難しく、話の中の重要なキーワードが相手に伝えることが難しいことが多い。</li> <li>身近な物の形や色の特徴はイメージでき、言葉にすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の特徴を付箋一枚に一つずつ正しい単語で書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学部の児童に対しての説明が必要だと思うことについて、意見を出すことができる。</li> </ul>
C 3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物の形等の特徴をイメージすることが難しく、自分の言葉で表すことを苦手としている。</li> <li>自分の言葉で表現することに自信がなく、ヒントを求めることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定された動物の動画を見て、姿や動きについての特徴を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「会話の仕方を学ぼう」では、内容に沿った質問をして、会話を2分程度続けることができる。</li> </ul>
D 2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を書く際には、助詞や拗音、促音等を正しく書くことが難しい。</li> <li>自分の興味のあるものや身近なものの見た目以外の特徴までイメージでき、言葉で伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の特徴について自分で考え、「△△は、○○である。」等、三語文で正しく文を2つ以上書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4, 5人のグループで、話し合いを行い、自分の意見を1つ以上出すことができる。</li> </ul>
E 2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物の形等の特徴はイメージできるが、言葉で表す際は、項目や注目すべき点等のヒントが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の写真や動画を見て、姿や動きについての特徴を選び、1つ以上単語で書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの話を聞いて関連する質問を2つすることができる。</li> </ul>
F 2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物の形や色等の特徴はイメージできるが、言葉で表す際は、項目のヒントが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の写真や動画を見て、姿や動きについての特徴を2つ以上単語で書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>依頼された内容を相手に正確に伝えることができる。</li> </ul>
G 2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物の形や色、動物であったら鳴き声等の特徴はイメージできるが、言葉として伝えることは難しい。</li> <li>意見を出す際は小声で伝わりにくいことが多いため、単語ではっきりと話すように言葉かけが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の写真を見て、動きや鳴き声の特徴について、2つ以上単語で書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3, 4人で話し合いを行うときに、自分の意見を1つ発表することができる。</li> </ul>

3 展開

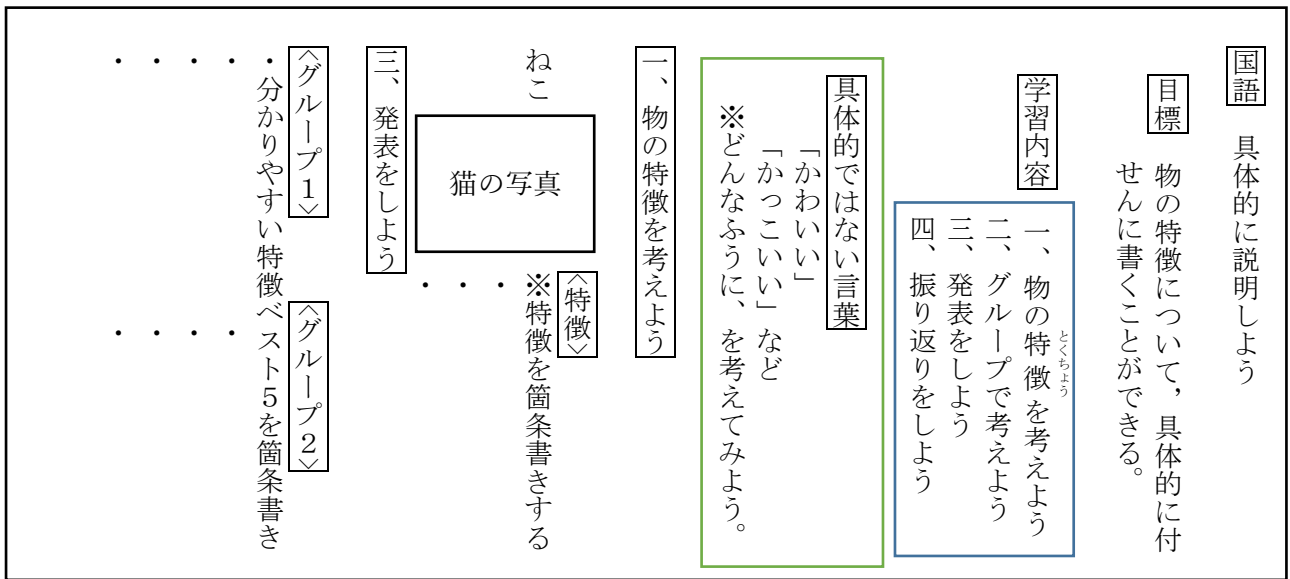
※形態の表記は 全体：全，グループ：グ，個別：個

形態時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て (各Tの役割等) ※評価は□で囲む
全 (5)	<p>1 始めのあいさつ</p> <p>2 前回の振り返りをする ・特徴を思い出して発表する。</p> <p>3 本時の目標・学習内容の確認 (1) 目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「動物の特徴について、具体的に付箋に書くことができる。」</div> <p>(2) 学習内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1 物の特徴を考えよう</p> <p>2 グループで考えよう</p> <p>3 発表しよう</p> <p>4 振り返りをしよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい姿勢で挨拶が出来るように、全員が前を向いたことを確認してから、生徒に号令をするよう促す。</li> <li>・前回の授業との繋がりを意識できるように、犬、ウサギについての特徴を思い出す時間を設ける。</li> <li>・犬とウサギの写真を提示し、姿等の特徴を表す言葉を思い出せるようにする。</li> <li>・思い出せる生徒の発表を聞き、思い出すことが難しい生徒が確認できるようにする。</li> <li>・T2はCとEに特徴と一緒に思い出そうと励まし、落ち着いて写真に注目するように言葉かけを行う。</li> <li>・Tは「かわいい」や「かっこいい」等の具体的とは言えない共通の特徴について確認するため、“具体的に”の部分に印を付ける。</li> <li>・T1は学習内容のカードをミニホワイトボードに貼って簡潔に説明することで、生徒が見通しを持てるようにする。</li> </ul>
全 (10)	<p>4 物の特徴を考えよう (1) いくつかの動物の動画を見る。</p> <p>(2) 教師が提示した動物の特徴を考える。</p> <p>(3) 特徴を言葉で表す。 &lt;発表順&gt; (B→E→C, F, G→A, D)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道端や動物園、水族館などで生徒が目にしていく可能性が高い、猫、犬、ゾウ、イルカ、ペンギンの動画をスクリーンに提示する。</li> <li>・積極的に特徴を出せるように、動画に出てきた猫の写真を提示する。</li> <li>・物事をイメージすることに課題がある生徒を2番、3番として、1番の答えをヒントにできる順番で指し、特徴を一つずつ発表するようにする。</li> <li>・難しい場合は、項目を提示し、項目に沿って特徴を発表できるようにする。</li> </ul>
グ (2)	<p>5 グループで考えよう (1) 指定されたグループに分かれ、バインダーと付箋を受け取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>G1 : A, C, F, G</p> <p>G2 : B, D, E</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T2は、バインダーと付箋の配付を行う。</li> <li>・説明を集中して聞くことが出来るように、生徒にバインダーと付箋が渡ったことを確認した後、流れを詳しく説明する。</li> </ul>

<p>個 (10)</p>	<p>(2) 写真と動画を見て、動物の特徴としてふさわしい言葉を考え、付箋に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時計を指して活動の終わりの時間を提示し、見通しをもてるようにする。</li> <li>・特徴を書く時のポイントとして、具体的とは言えない言葉についてホワイトボードに提示し、生徒が確認できるようにする。</li> <li>・特徴を考える手掛かりになるように、項目が書かれているA3用紙をグループ1枚配る。</li> <li>・CとEには、特徴が書かれた一覧表を配る。</li> <li>・特徴の言葉が出ない場合は、写真や動画に注目するように言葉をかけたり、項目を提示したりする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 指定された動物を特定できる特徴を2つ以上書いている。 (思考力・判断力・表現力) [付箋]</li> <li>B 動物の特徴を付箋一枚に一つずつ正しい単語で特徴を書いている。 (思考力・判断力・表現力) [付箋]</li> <li>C 指定された動物の動画を見て、姿や動きについての特徴を書いている。 (思考力・判断力・表現力) [付箋]</li> <li>D 動物の特徴について自分で考え、「△△は、○○である。」等、三語文で正しく文を2つ以上書いている。 (思考力・判断力・表現力) [付箋]</li> <li>E 動物の写真や動画を見て、姿や動きについての特徴を選び、1つ以上単語で書いている。 (思考力・判断力・表現力) [付箋]</li> <li>F 動物の写真や動画を見て、姿や動きについての特徴を2つ以上単語で書いている。 (思考力・判断力・表現力) [付箋]</li> <li>G 動物の写真を見て、動きや鳴き声の特徴について、2つ以上単語で書くことができる。 (思考力・判断力・表現力) [付箋]</li> </ul> </div> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容に沿った動物の特徴を書いている。 (思考力・判断力・表現力) [観察・会話・付箋]</li> </ul> </div>
-------------------	---	--

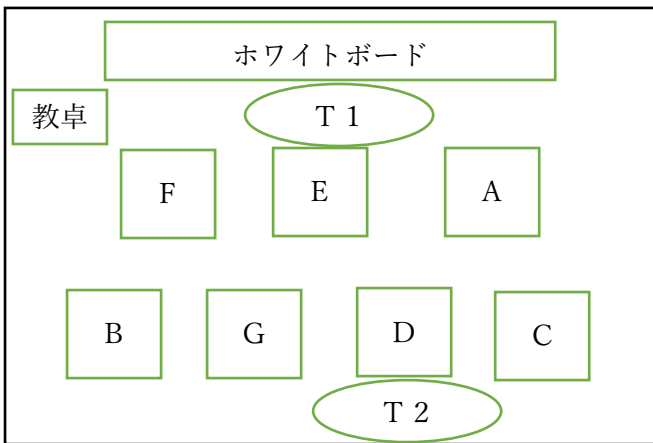
<p>グ (8)</p>	<p>(3) グループのメンバーで動物の特徴を書いた付箋を持ちより、項目ごとに特徴を分ける。</p> <p>(4) 同じ特徴が書いてある付箋をまとめる。</p> <p>(5) 分かりやすいと思われる特徴の付箋ベスト5をA4の紙に順に並べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ T1は、グループごとの進捗を確認し、次の活動に移ることが出来るように言葉をかける。</li> <li>・ 自分と同じ特徴が書かれた付箋に気付くことができるように、生徒に自分が書いた付箋を読み上げながら、A3の紙に貼るように促す。</li> <li>・ 同じ特徴を書いた人がいた場合、自分だけでなく、他の人も同じ特徴を考えていたと共有できるように、Tが言葉をかける。</li> <li>・ Tは、項目に沿っているか、正しい言葉であるかをグループ全体で確認できるように言葉かけをする。</li> <li>・ 動物の特徴として、分かりやすい言葉はどれか、問いかける。</li> </ul>
<p>全 (10)</p>	<p>6 発表しよう (クイズ!当ててみよう)</p> <p>(1) グループごとに発表する。</p> <p>(2) 答え合わせを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの物について、具体的な特徴を出すことができたか問いかけ、一生懸命取り組んだことを称賛する。</li> <li>・ 発表の仕方を説明し、物の名前は最後に明かすことを伝える。</li> <li>・ T1は各グループの代表者を指名する。</li> <li>・ 先に発表したいグループを聞き、主体性を大切にする。</li> <li>・ 聞いている側全員で答えを言い、答え合わせを行う。</li> </ul>
<p>全 (5)</p>	<p>7 振り返りをしよう</p> <p>8 次回の学習内容の確認</p> <p>9 終わりのあいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分かりやすいと感じた説明の言葉を聞き、板書に印を付けて、確認する。</li> <li>・ 分かりやすく伝えることを意識することで、具体的に説明できるようになることを伝える。</li> <li>・ 次回の授業の日いち、内容を伝え、見通しがもてるようにする。</li> <li>・ 正しい姿勢で挨拶が出来るように、全員が前を向いたことを確認してから、生徒に号令をするように促す。</li> </ul>

板書計画



配置図

開始時



個別・グループ時

